

衛生動物シリーズ チャタテムシ

今年は秋口の残暑は厳しかったものの、真夏の頃は、梅雨のような気候でした。雨の日が多く、湿気の多い気候であったためか、高い湿度を好むチャタテムシ類の相談が多かったようです。

チャタテムシの名前のいわれ

チャタテムシ類の中に、抹茶をたてる時のような音を出す種類があります。そのことから茶をたてる虫、すなわちチャタテムシと呼ばれています。しかし、実際に家屋内でよく見つけれられるチャタテムシ類の仲間には、このような音を出すことはありません。チャタテムシ類の中で、ヒラタチャタテ、コナチャタテなどが室内あるいは食品等に大発生をして問題になる種類です。



ヒラタチャタテ

衛生上の害

体長は1mm程度の小さな昆虫です。室内のほこりなどを調べると、チャタテムシ類がよく見つかります。また、本棚の古い書籍などを開けると、逃げるように走っていく小さな虫の多くはチャタテムシ類です。普段は目に付くことはあまりないのですが、大量に発生することにより、人に不快感を与えたり、ダニと間違われたりして、相談があります。人を刺したり、噛んだりすることはありません。

えさ

チャタテムシ類のえさはカビです。室内の湿度が高く、カビが発生すると、それをえさにするチャタテムシ類の大量発生につながります。また、保存食品、例えば煮干、かつお節、穀物の粉などにもよく発生します。保存食品に発生するカビを食べるとともに、保存食品そのものもえさとして食べているようです。

対策の基本

チャタテムシ類は湿気を好みます。また湿気が多いとチャタテムシのえさになるカビも発生しやすくなります。湿気を抑えることが、チャタテムシ類の発生を抑えます。

食品類は長期にわたって保存しないことが重要ですが、どうしても長期になる場合は、密閉容器で保存するか冷蔵庫に入れましょう。また、畳もチャタテムシ類が大量に発生する原因の一つです。特に室内の通気、乾燥を心掛けることが重要です。

そば殻の枕

チャタテムシ類が大量に発生した事例で、原因がそば殻入りの枕であることがありました。そば殻に発生するカビを、あるいはそば殻そのものをえさにしているのでしょう。大量に発生すると枕の縫い目からひんぱんに出入りしているのが確認できます。そば殻入りの枕が発生源でしたら、天気の良い日にそば殻を枕から出して、日光にさらすとチャタテムシ類はあわてて逃げ出してしまいます。また、そば殻を出すことができない場合でも、こまめに天気の良い日に枕ごと干すと発生を抑えることができます。